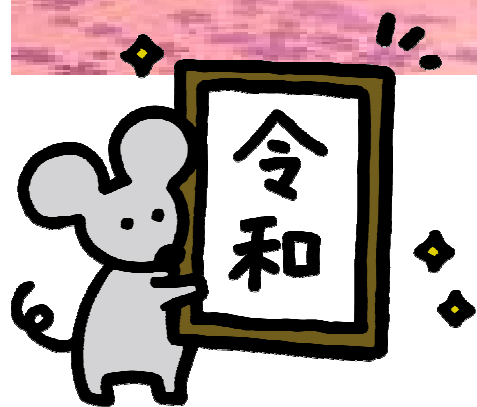


新年おめでとうございます 2020 皆様にとって新年が良い年でありますように

施設長 吉田憲一



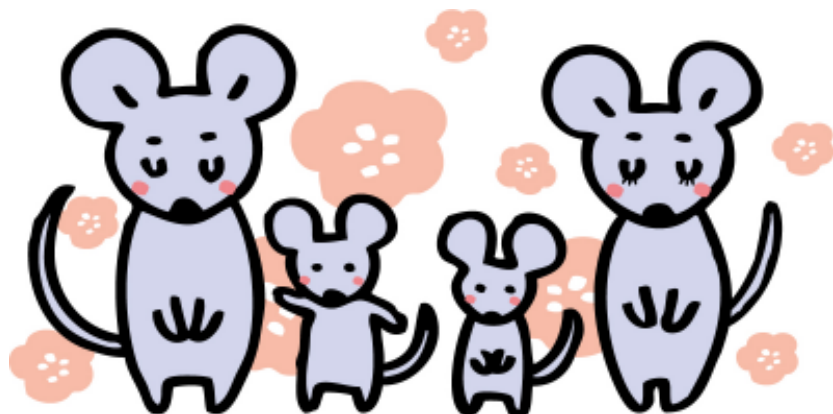
昨年は元号も平成から令和へと変わり本年は令和になって初めてのお正月です。何かおめでたい話とを考え新生児赤ちゃんの話を少ししてみます。

まず赤ちゃんの数、出生数ですが、年々少子化が進み、昨年はとうとう90万の大台を割り、合計特殊出生率は1.4台と低迷しています。日本では明治初期からおよそ150年余統計

計が有りますが、最多は昭和22~24年の年間260万人台、所謂団塊の世代です。最小は明治初期5~6年の60~80万人ですから、昨年は実に145年ぶりの少子出産でした。人口減は経済活力の低下に直結しています。何しろ個人消費が減るのですから。バブル崩壊後の日本経済の長期低迷もこの少子化が大きな要因と言われています。更に深刻なのがこの傾向がしばらく続くと予想されること、何故なら出産適齢期の女性人口も減少し続けているからです。

少子化の傾向は所謂先進国に多くみられる現象で西欧諸国に加え近年は、韓国、台湾、シンガポールなどにも少子化の波が押し寄せています。先述の合計特殊出生率とは一人の女性が生涯に何人の子供を産むかを表した数値で2.0を若干上回る数値であれば人口維持可能とされています。先述の東アジア諸国では、1.0を切る国もあり、状況は日本以上に深刻です。やはり移民が必要なのかもしれません。

最後にトリビアを一つ。出生時の男女比が実は1対1ではない事ご存じでしたか。年次によって多少の変動はありますが男対女比は105:100位で出生時は男の方が少し多いのです。総人口の男女比は女のほうが多いので、つまり男性の方が生物学的には虚弱で早く死に、女性のほうが丈夫で長生きなのです。それでは、お後がよろしいようで。





令和初のクリスマス会

令和初めてのクリスマス会は盛況のうちに終わらせることが出来ました。職員も限られた時間で飾りつけや会場の設営に一生懸命取り組んでいました。

オトラ・ヴェスの方々が入場されると会場は一気に湧き、演奏が始まると職員、ご利用者、ご家族の方々すべてが一体となって数々の名曲に魅了されていました。職員の出し物「二人羽織り」では普段の勤務では見られない茶目っ気たっぷりに演じられ、参加されたかた皆様を大いに笑わせ、楽しませて下さいました。



3階介護 岩田



楽しい一年にしましょう

一年があっという間に駆け抜け、忙しい年の瀬を迎えました。来年の足音が、日に日に大きくなるのを感じながらも、締めくくりの催し物であるデイケアのクリスマス会を開催させていただきました。

過去には仮装しながらの卓球大会や劇などを披露させていただきましたが、思い悩んだ結果、今回は評判の良かったクイズダービー、そして恒例となっているハンドベルとビンゴゲームを行うことに決めました。

クイズダービーでは懐かしの番組を模して、質問に対して職員がいろいろな珍回答を述べるのですが、想像以上に熱心に答えを考えて

くださる皆様に、答える職員の方が照れてしまう場面も... たどたどしく躓きながら披露させて頂いた出し物でしたが、暖かい笑顔に和やかな時間を皆様と共有することが出来ました。

今年も皆様の笑顔を糧に頑張っています。皆様にとって良い一年でありますように。

通所介護 平野



小学生たちの和太鼓

11月18日千秀小学校の和太鼓クラブの皆さんが演奏を披露してくれました。

30名位の子供たちが順番に太鼓を叩き、時には声を出し、おなかの底に響くような音、その迫力には大変驚かされました。

2階の御利用者の中には、「とても良かった!」「凄かった!」と涙を流している方もいました。

以前、ケアポート田谷のお祭りでも小学校の太鼓をお借りして職員が演奏したことがありました。思い切り太鼓を叩くことはストレス発散にもなりとてもオススメです!仲間と音を合わせ、心を合わせた演奏後の達成感は格別なものです。

今後も地域の皆さまとの交流を大切に、利用者の皆さまにも楽しんでいただけるよう頑張っていきたいと思います。

2階介護副主任 加藤

「湯った〜りサロン in 湯快爽快 たや」を開催

去る11月26日、湯快爽快 たや、ダスキンヘルスレント港南ステーション、田谷町内会、田谷長生会、笠間地域ケアプラザ、豊田地域ケアプラザとケアポート・田谷の共催で、第1回湯った〜りサロンを「湯快爽快 たや」にて開催致しました。

第1回湯った〜りサロンでは、筋肉量と骨密度の測定会並びに介護の相談会を実施する予定でしたが、骨密度の測定器が故障し、急遽、

足指力の計測を実施することにしました。

当日は67名の方に参加いただきました。骨密度の測定を楽しみに来ていただいた方もおられ、大変申し訳なかったのですが、アンケート結果では「とても良かった」という回答を多くの方からいただくことが出来ました。

参加いただいた方は、年齢は40〜70代と幅広く、また近隣の方以外に大和市や横須賀市からお越しいただいた方もおられ、びっくりしました。

湯った〜りサロンは地域の勉強会の「湯快爽快 たや」バージョンです。地域の勉強会とは、地域に向けての福祉・医療に

関する情報提供の場で、笠間と豊田の地域包括支援センターとケアポート・田谷の協働で2016年11月から年に1、2回程度町内会館等をお借りし行っています。今回のサロンの開催にあたっては、福祉・医療に関連する機関だけでなく豊田・笠間地域に在籍の会社やその他の機関、在住の方々にも参加いただける場が持てればいいねということで、田谷町内会長、田谷長生会長に相談し、「湯快爽快 たや」様にお話しを持っていたところ快く場所をご提供いただき、広報にもご協力いただきました。

今後もこの「湯った〜りサロン」を継続して開催していく予定ですので、今後取り上げてほしいテーマ等ございましたら、ご意見、ご要望等お寄せいただければ幸いです。今後ともよろしくお願い致します。支援相談員 藤本



明けましておめでとうございます。

今年のおせち料理

さて毎年恒例のおせち弁当ですが、今回は作る側である厨房の話をしたしたいと思います。

元日の朝、厨房職員は日の出よりも前に出勤し、朝食提供と並行しておせち弁当の準備に取り掛かります。おせち弁当は品数が多い為、きざみやミキサーに加工するのも一苦労。ようやく加工し終えたかと思えば、次は約 100 食分の弁当箱に盛り付けなければなりません。詰め忘れや間違いはないか、細心の注意を払いながら丁寧に盛り付けていくのは、本当に大変な作業です。実際、彼らが一息付けたのは、おせち弁当を乗せた配膳車を無事送り出した後のことでした。



そんな彼らの努力が詰まったおせち弁当、ご利用者も「すごいね」「豪華だね」と大変喜んで下さり、ほとんどの方が完食されていました。まだ外が暗いうちから、「ご利用者に喜んでもらいたい」という想いで一生懸命頑張ってくれた厨房職員。もし機会がありましたら、彼らに一言労いの言葉をかけてくださると幸いです。

栄養科副主任 江崎ふみ

今年も奉らせて頂きました。
集まったお賽銭は、後日五霊神社へ奉納させて頂きます。



田舎
谷ボト
神社

と、うれしく思います。

インスタ映えですよ！！ぜひご家族で、写真など如何でしょうか？

皆様にとって、良い一年になりますように。

通所介護副主任 上野

2020年は「子」年

明けましておめでとうございます。

今年の干支が“ねずみ”ということで、昨年末にミッキーをモチーフとした壁画作りに取り掛かりました。材料は、ペットボトルの蓋と折り紙。あとは下絵を描く段ボールに張り付ける模造紙です。

蓋を折り紙で包み込むことで色付けし、大きなミッキーの下絵

に、ボンドを使って貼っていくことで作品となります。綺麗に作るポイントは、ペットボトルの蓋に描かれて



ている銘柄などを、修正液や白のビニールテープを使って、如何に上手に目立たないようにできるかです。

そのように工夫しながら、皆様に様々な色の“折り紙蓋”を作って頂いたのですが、絵が大きかったこともあり、たくさんの量が必要でした。皆様におかれましては、何度も何度もご協力して頂き、本当に大変だったと思います。

そのかいもあり、なんとか年末までに作品完成へとこぎつける事ができました。ご協力くださった皆様に職員一同大変感謝しております。

玄関先に大きなミッキーの絵が飾ってありますので、皆様ぜひ目にとめて頂ける

